

教育と文化



6月23日(日)～29日(土)は

『男女共同参画週間』です

『男女共同参画「学」』『知る学ぶ
考える私の人生 私がつくる』

●問合先 企画政策課

男女協働推進係(☎2115)

国は、平成11年6月に施行された『男女共同参画社会基本法』への理解と関心を深めるため、毎年6月23日から29日までを『男女共同参画週間』と定めています。

今年度の男女共同参画週間キャッチフレーズは、『男女共同参画「学」』『知る学ぶ考える私の人生 私がつくる』です。これは、『学び』を通じて、女性も男性も一人一人が、多様なライフキャリアの形成と選択ができる社会の実現のためのキャッチフレーズとして、公募で選ばれました。

市男女協働参画出前講座を 利用してください

市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』では、さまざまな団体の会合などに出向き、出前講座を行っています。

男女協働参画について、皆さんに分かりやすく身近に感じてもらうため、紙芝居やクイズ型カードゲーム、朗読劇など、団体や人数に応じて内容を工夫しています。

出前講座のテーマの例

- ① 男女協働参画について全般的なこと
 - ② 男女協働参画の視点から考える防災
 - ③ ワーク・ライフ・バランスに関すること
 - ④ DV（ドメスティックバイオレンス）防止に関すること
 - ⑤ ハラスメント防止に関すること
 - ⑥ LGBTに関すること
- ※ その他もご相談ください。

郷土の文化財

伊万里の城館跡シリーズ⑩

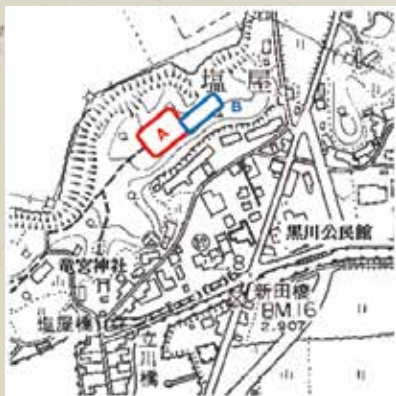
●問合先 生涯学習課文化財係(☎3186)

姥ヶ城跡

姥ヶ城は別名『牧野城』『黒川城』とも呼ばれ、黒川町塩屋字城平の岬状に東西に延びる丘陵上に立地する山城跡です。

丘陵の最高所には主郭が存在していたと考えられる平坦面(図中A)が確認できますが、現在は墓地として改変されていて、城跡としての造成段は確認できません。この平坦面から北東に延びる尾根上には幅が狭小な平坦面(図中B)が確認できます。この尾根は切り立った断崖の頂部になっていて、険しい自然地形を城の防御機能として取り込んだものと推測できます。

江戸時代の文書によれば、姥ヶ城は波多氏被官の黒川氏の居城と



↑山口城跡の現存する石積み

記されています。また、城跡の南方に位置する小黒川地区には代々の城主を弔っていたとされる立雲寺や墓所が存在するなど、黒川氏存在を示す状況が数多く見られます。

姥ヶ城へは、竜宮神社脇の里道から北東に向かうと墓地のある平坦面へたどり着けますが、墓地から先の尾根上は危険ですので、立ち入らないようにしてください。